1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2271101335		
法人名	有限会社　在宅支援センターふれあい		
事業所名	グループホーム　ふれあい香貫	ユニット名	1F
所在地	静岡県沼津市下香貫楊原530-16		
自己評価作成日	平成22年12月10日	評価結果市町村受理日	平成23年3月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2271101335&SCD=320

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	セリオコーポレーション有限会社　福祉第三者評価・調査事業部
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町4－1
訪問調査日	平成22年12月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

閑静な住宅地の一角に所在し、利用者様とスタッフが一緒になり小さな家庭菜園をつくり年間を通して季節の野菜の収穫を楽しんでおります。共同生活にとらわれることなく個性を尊重し自由に生活ができるよう出来る限りの支援を行い、地域や近隣の皆様と助け合い暮らしていけるよう積極的に活動しております。利用者様、ご家族、近隣の方々が一緒に楽しめるよう行事には多方面のボランティアの皆様によるご協力をいただき盛大に行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

利用者の思いを叶えるために職員が一つにまとまっている、皆が利用者に優しくと心掛けている、利用者の笑顔を作るのが上手、利用者が悔いない過ごし方ができるよう自分も悔いのない介護をしたい・・・調査の中で拾った職員の声である。きれいごとだけでは済まない介護支援の仕事の中からも、自分が入りたいホームを目指し更に夢を持って質を高める姿勢が窺える。
個々の希望を支援するために利用者の言葉を聞き逃さない”気づきメモ”が活用され、”職員は認知症の専門員”との自負の下、利用者本位の暮らしを実現している。これまでに培った地域やボランティアの協力を大切に「みんな仲良く集う毎日」の積み重ねを期待したい。

Ⅴ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25）		1. ほぼ全ての利用者の
		○	2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19）		1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20）		1. ほぼ毎日のように
		○	2. 数日に1回程度
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4）		1. 大いに増えている
		○	2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
		○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。〕

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念「みんな仲良く集う毎日」を掲示するだけではなく、毎朝の申し送りの後にスタッフ全員で声をそろえ復唱している	理念の「みんな仲良く集う毎日」は利用者・職員のみでなく、家族や地域の方々を含めての実現を目指し、毎朝の復唱で意識付けを図り、その日の申し送り報告で様子を共有して実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	組長会議に出席し、運営理念と内容の説明 ホーム主催の行事に参加の呼びかけ　町内防災訓練の催事への参加	地域・ホーム相互の行事に元職員の家族を含め参加交流しており、野菜や餅のやり取りや介護相談の訪問等、みんな仲良くの理念実践が窺える。また地元商店での買い物により利用者と顔見知りになれるよう努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣にお住まいの高齢者の方々に気軽に立ち寄って頂けるようなホームを目指し、日常的に挨拶を交わし、回覧でまわす行事のお知らせに、気軽に相談に来ていただけるように記載しております		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度の運営推進会議では、ホーム内での出来事の報告を行うとともに、ご家族からの要望や意見を参考にすることが多くあります	家族が参加しやすい日を選んで開催する運営推進会議では行事や活動の様子、ヒヤリハット、利用者・職員の動向等ホームの状況を明らかにしている。地域委員には防災の協力を依頼している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	沼津市役所長寿介護課の方、地域包括支援センターの皆様にはあたたかく支えられております。2ヶ月に一度のグループホーム連絡協議会に参加させていただき、他の事業所の方々と意見交換または行き来ができるようになりとても助かっております	市の担当者に利用者の生活や健康に関する相談をしている。法人本部では入居状況を地域包括支援センターに届け、情報の共有により利用希望者への便宜を図っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングを通じてスタッフ全員が理解し共有している。法人内の研修も行われている	外部研修の参加や内部ミーティング等機会ある毎に職員全体で正しい知識を深めており、職員同士の気づきで小さな拘束もなくすよう努めている。認知症を良く知り怠りのないケアが大切との職員意見が聞かれた。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	スタッフミーティングでの中で高齢者虐待防止関連法についてお話し、見過ごす事の無いよう利用者の変化について、どんな些細なことでも申し送り、記載し、情報の共有を行っております		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について職員の何名かは研修で習得しています。利用者やご家族からの相談を頂いたとき、意向に添えるよう協力させていただきます		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書面を読み合わせ、説明をさせていただいております。分からないことがあるとき、随時問い合わせにお答えし、理解していただけるように努めております		
10	（6）	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃の利用者様との関わりの中で気付きシートを設け解決へ向けて取り組んでいます。また、介護相談員を通じて受けた利用者様の声や、苦情箱に投函されたご意見を運営に反映させるよう努めています。	運営推進会議で家族の思いや疑問を率直に話し合っており、相互理解に努めている。家族との行き違いが無いよう管理者が対応して職員へ周知し、ホーム運営・介護計画へ反映させている。	法人事業所間の移動による職員の交代を惜しむ声が複数聞かれた。運営上やむを得ない措置と思われるが一考を願いたい。
11	（7）	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	気軽に意見交換のできるフロアミーティングを月１回開催し、職員の意見、提案を反映する機会を設けています。また、その内容によっては社内の管理者ミーティングに提案しています。	全員参加のミーティングで意見を出し合い、結論を導いている。意見の反映として介護方法やホーム内ルールの統一、新しい職員への細やかなフォロー等に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の体調不良などによる急な欠勤等は代役の要請で補い、個々の希望に添った勤務調整を行っております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修や外部研修の情報を周知し、受講者のためのシフトの調整などを行っている。受講した者には全体ミーティングにて発表の時間を儲けスタッフ皆で共有し実践に役立てている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヶ月に1度のグループホーム連絡協議会や事例検討会に参加させていただき、意見交換、相談などの機会をいただき、近隣事業所への見学、運営推進会議への参加も積極的に行い、それを参考にサービス向上へ取り組みを行っております		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人が慣れるまでは、毎日様子を伺い心配な事、疑問点など安心して何でも話せるような雰囲気作りを心がけております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	心配な事、疑問点など安心して何でも話せる雰囲気作りを心がけております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居を急がれている場合、空室がない時は近隣施設またはその他のサービスを紹介しております		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	1Fは男性利用者様が多く、庭で野菜の苗を植えあれこれと試行錯誤しながら収穫までたどりつけたり、洗車や落ち葉の掃除、餅つきなどの力仕事を一緒に行って頂いております		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との面会時に近況の報告をしながら利用者様へ何をして差し上げたいか、悩み等を共有し改善しています		
20	（8）	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	会話の中からご本人が行きたい場所、逢いたい人など要望に添えるようお手伝いしています	親戚や自宅の町内の方等旧知の訪問があり職員は来やすい雰囲気作りで関係継続の支援をしている。また、利用者が家族と自宅へ帰ったり、墓参りをしたりして過ごせるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々の体操、レクリエーションに自主的に全員参加で日常生活が楽しく過ごせるよう心がけ支援しております。みかん狩り、遠足、クリスマス、餅つき等の施設内外行事は1.2F合同で行うこともあり、皆様楽しまれています		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された家族にも行事や、運営推進会議などのお知らせ行い。いつでも立ち寄れる雰囲気作りを心がけております		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	（9）	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限りご本人やご家族のご希望を聞き入れ部屋作りや環境づくりを行い、暮らしが安全に生活できるよう、ご本人の意向を重視しつつ努めております	入居時に本人や家族から希望や生活歴を聞いており、職員は日々の観察の中で一人ひとりの思いや意向を把握するよう努めている。少しの気づきでも職員間での申し送りになっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの情報や、毎日のかかわりの中でのスタッフの気付きメモまた、センター方式のシートを活用し情報の共有に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活の様子を記録に残し、特記事項も含め、朝　夕の申し送りで情報の共有を行っている		
26	（10）	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の意向をうかがうとともに、家族や居室担当者スタッフと相談しながら現状に即した介護計画を作成しています。	介護計画は毎月１回のミーティングや日々の観察から得られた情報が実践的な計画になり、長期・短期目標もその時に合った具体的な計画となっており、家族の確認も取っているが、評価はしていない。	介護計画は6か月に一度の見直しをしているが、評価はしていない。介護計画を作成するにあたり、評価をしその人に合った目標を立てることを期待する。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の申し送り(朝　夕)で話し合い、情報の共有を行い、その他のスタッフはホワイトボードや申し送りノートで提示し見直しに活かしております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	関連事業(介護タクシー・レンタル事業など)の活用を心がけている		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎年中学生の職業体験受け入れを行い、行事の際には高校生の和太鼓や大正琴等ボランティア協力をお願いし、地域住民のご協力もありました。防災関係では消防署との関わりもできました		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	歯科、内科医は月に2回の往診により医療連携を計っており、また専門外医療については、関係医療機関を紹介していただいている	協力医により月２回の往診を受け、週２～３回巡回の看護師による健康チェックや夜間の緊急時の対応も行える体制も整っている。かかりつけ医への通院も支援できるようになっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に数回、巡回看護師が来られ健康チェックを行い緊急時には24時間の電話での対応をして頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃より医療機関のソーシャルワーカーの皆さんと連携をはかり、相談　情報交換に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人、ご家族に終末期についての考えを伺いご希望に添えるよう医療との連携を図り、体制を整えております	重度化に向けた家族の確認書は取っている。ターミナルケアに対応したケースもあり、職員はターミナルケアの受け入れに対し、前向きであり、話し合いもしている。	職員はターミナルケアに対し、自然に受け入れられているが、ターミナルケアに備えての指針やマニュアルの作成等を整える事を期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命や緊急時の対応などの講習を受けたり事故時の協力体制についてのマニュアルを常に確認しています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練の実施　防災委員を通じ常に情報の共有をし地域の防災訓練にも参加し協力を得られるようにしている	施設独自の災害訓練は月２回行われ、消防署立会いの指導訓練も年2回実施している。自治会の防災訓練にも参加し、災害時の協力のお願いもしている。災害時に備えた食料・水の備蓄もしている。	

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーへの配慮、丁寧な言葉遣いで対応が出来るよう常に申し送りミーティング等で話し合っています	利用者の個々のファイル等、個人情報の書類は事務所内に保管されている。職員は利用者の尊厳を傷つけない個々に合った対応や、言葉掛けに気を配っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話の中で「はい」「いいえ」ではなく焦らずゆっくり答えられる声かけを心がけています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを尊重し、希望に添った援助を行っております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類はなるべくご自分で選んでいただくようにしています。タンスは衣類のネームプレートをはり分かりやすいように工夫しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	必ず声かけし同意を得て、歩ける方はキッチンに入っていただき、車椅子の方は野菜の皮むきや食器拭きなどを座ったままやっていただいています。また、献立には入居者の皆様の声を反映するようにしています。	庭先で収穫した野菜を利用した献立を、利用者と一緒に考えたり、梅干しやらっきょう漬けなども一緒に漬け込んだりと、利用者が食を楽しめるよう配慮している。食事の片づけなども、利用者ができる事を手伝えるような支援もしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスガイドを基本とし、食事、水分量をチェックしています。障害のある方はきざみやとろみなどで工夫をしています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後ADLに応じた口腔ケアを行い、1ヶ月に2度歯科往診して頂き、その都度口腔ケアの指導をして頂いております		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	（16）	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を活用し、間隔パターンを把握しスムーズな誘導を心がけ失敗により自尊心を傷つけないよう配慮しております	排泄チェック表により、個々の排泄パターンを職員同士で共有しており、利用者個々に合った声掛けで誘導し、トイレでの排泄や自立に向けた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便を促す飲食物や、身体を動かす働きかけを行ったり、入浴時のマッサージ等、常に心がけ行っておりますが、排泄チェック表により排便の確認が取れない時は、看護師、かかりつけ医の指示のもと便秘薬など使用しております		
45	（17）	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本的な曜日は決まっておりますが、ご本人の希望により自由に入って頂いております	週2回以上は入浴できるようしており、また希望により夜間も入浴できるように支援もしている。浴槽には季節感を感じられるよう柚子湯なども提供し、入浴を楽しめるよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの習慣や体調に合わせて、休息、睡眠を支援させていただいております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬一覧表を作り、往診時等に薬の変更または臨時薬の処方があった場合は、変更の記入を行っている。職員全員が薬事情報の確認とチェックを行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今まで過ごした習慣や生活暦など参考にしながら、個別に対応しております		
49	（18）	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お天気の良い暖かい日は、戸外に出るよう心がけており、お弁当持参で近所の公園や神社に出かけております。またお誕生日月には、ご本人のご要望の場所に出かけております	食材の買い物や近くの神社や公園に弁当を持って出掛けたり、ドライブでみかん狩りやレストラン等への遠出の機会も設けている。利用者の誕生月には行きたい所へ同行する支援もしている。	

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の要望により、ご家族様と相談をしながら、お小遣いとして小額のお金を持っていただき、買い物など楽しまれております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙は気持ちを尊重し、電話の取次ぎや手紙の投函などお手伝いさせていただいております。また季節のお便りなども行っております		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を取り入れる為、毎月ディスプレイを変えたり、写真の掲示も楽しめるような工夫をしております	窓は大きく、明るく暖かい室内には、祭りやドライブ時の写真や利用者の作品が飾られたりと、共有空間は居心地が良く親しみやすいよう配慮されている。トイレの汚れ等次の使用者が決して不快で無いよう清潔を保っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室にもソファーを増やして置き自由にくつろいでいただけるようにしています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人にとって大切な物や馴染みの品物はなるべく多くご家族にお願いし持って来ていただいています	居室には、仏壇・桐のタンスなど馴染みの家具が持ち込まれ、写真や習字・絵などが飾られている。室内も整頓されており、それぞれが居心地よく過ごせるような部屋作りとなっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共用部になるべく障害物を置かないようにし、居室内のベッドやタンスの位置などもご本人スタッフと相談し動きやすい様にしております		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2271101335		
法人名	有限会社　在宅支援センターふれあい		
事業所名	グループホーム　ふれあい香貫	ユニット名	2F
所在地	静岡県沼津市下香貫楊原530-16		
自己評価作成日	平成22年12月10日	評価結果市町村受理日	平成23年3月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2271101335&SCD=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	セリオコーポレーション有限会社　福祉第三者評価・調査事業部
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町4－1
訪問調査日	平成22年12月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

閑静な住宅地の一角に所在し、利用者様とスタッフが一緒になり小さな家庭菜園をつくり年間を通して季節の野菜の収穫を楽しんでおります。共同生活にとらわれることなく個性を尊重し自由に生活ができるよう出来る限りの支援を行い、地域や近隣の皆様と助け合い暮らしていけるよう積極的に活動しております。利用者様、ご家族、近隣の方々が一緒に楽しめるよう行事には多方面のボランティアの皆様によるご協力をいただき盛大に行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

V．サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の
		○	2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)		1. 毎日ある
		○	2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)		1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
		○	2. 数日に1回程度
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
		○	2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
		○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。〕

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入職時、ホーム独自の目標を伝えスタッフ一丸となり、目標に向かい日々ケアに努めています	※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームの行事を、自治会などに参加を呼びかけたり、防災訓練などにも参加しています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣にお住まいの高齢者の方々に気軽に立ち寄って頂けるようなホームを目指し、日常的に挨拶を交わし、回覧でまわす行事のお知らせに、気軽に相談に来ていただけるように記載しております		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、運営推進会議を開催しホームでの出来事、報告などを伝え家族からの要望、意見交換をしております		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	沼津市役所長寿介護課の方、地域包括支援センターの皆様にはあたたかく支えられております。2ヶ月に一度のグループホーム連絡協議会に参加させていただき、他の事業所の方々と意見交換または行き来ができるようになりとても助かっております		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングを通じてスタッフ全員が理解し共有している。法人内の研修も行われている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	スタッフミーティングでの中で高齢者虐待防止関連法についてお話し、見過ごす事の無いよう利用者の変化について、どんな些細なことでも申し送り、記載し、情報の共有を行っております		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について職員の何名かは研修で習得しています。利用者やご家族からの相談を頂いたとき、意向に添えるよう協力させていただきます		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書面を読み合わせ、説明をさせていただいております。分からないことがあるとき、随時問い合わせにお答えし、理解していただけるように努めております		
10	（6）	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃の利用者様との関わりの中で気付きシートを設け解決へ向けて取り組んでいます。また、介護相談員を通じて受けた利用者様の声や、苦情箱に投函されたご意見を運営に反映させるように努めています。		
11	（7）	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	気軽に意見交換のできるフロアミーティングを月１回開催し、職員の意見、提案を反映する機会を設けています。また、その内容によっては社内の管理者ミーティングに提案しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の体調不良などによる急な欠勤等は代役の要請で補い、個々の希望に添った勤務調整を行っております		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修や外部研修の情報を周知、受講者のためのしシフトの調整などを行っている。 受講した者には全体ミーティングにて発表の時間を設けスタッフ皆で共有し実践に役立てている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヶ月に1度のグループホーム連絡協議会や事例検討会に参加させていただき、意見交換、相談などの機会をいただき、近隣事業所への見学、運営推進会議への参加も積極的に行い、それを参考にサービス向上へ取り組みを行っております		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人が慣れるまでは、毎日様子を伺い心配な事、疑問点など安心して何でも話せるような雰囲気作りを心がけております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	心配な事、疑問点など安心して何でも話せる雰囲気作りを心がけております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居を急がれている場合、空室がない時は近隣施設またはその他のサービスを紹介しております		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の準備、洗濯干し、たたみ、掃除などを一緒にお手伝いして頂いてます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時、近況報告を行うとともに、悩みなどを共有し改善しています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	会話の中からご本人が行きたい場所、逢いたい人など要望に添えるようお手伝いしています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々の体操、レクリエーションに自主的に参加ができるように励んでいます。日常生活が楽しく過ごせるよう心がけ支援しております		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された家族にも行事や、運営推進会議などのお知らせ行い。いつでも立ち寄れる雰囲気作りを心がけております		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	（9）	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限りご本人やご家族のご希望を聞き入れ部屋作りや環境づくりを行い、暮らしが安全に生活できるよう、ご本人の意向を重視しつつ努めております		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族などの会話、ご本人様との会話などから情報シートを作成しスタッフで共有しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の変化で気付いたことを観察記録に残しています。		
26	（10）	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の意向を伺うとともに、家族や居室担当者スタッフと相談しながら現状に即した介護計画を作成している。。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の申し送り(朝　夕)で話し合い、情報の共有を行い、その他のスタッフはホワイトボードや申し送りノートで提示し見直しに活かしております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	要望に応じて臨機応変に対応しています。（介護タクシー・レンタル事業など）		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎年中学生の職業体験受け入れを行い、行事の際には高校生の和太鼓や大正琴等ボランティア協力をお願いし、地域住民のご協力もありました。防災関係では消防署との関わりもできました		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回往診して頂いております。利用者様の変化があった場合は受診し、素早い連携をはかっております。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に数回、巡回看護師が来られ健康チェックを行い緊急時には24時間の電話での対応をして頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃より医療機関のソーシャルワーカーの皆さんと連携をはかり、相談　情報交換に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人、ご家族に終末期についての考えを伺いご希望に添えるよう医療との連携を図り体制を整えております		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命や緊急時の対応などの講習を受けたり事故時の協力体制についてのマニュアルを常に確認しています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災発生時、地震発生時の訓練を2ヶ月に一度実施しております		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーへの配慮、丁寧な言葉遣いで対応が出来るよう常に申し送りミーティング等で話し合っています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スタッフと2人になれる時間を作り、会話の中からご本人の思いや希望を伺い、全スタッフで利用者様の思いを共有し、ご自分から自己決定できるよう支援しております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを尊重し、希望に添った援助を行っております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類はなるべくご自分で選んで頂くようにしています。タンスはネームプレートをはり分かりやすいように工夫しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	必ず声かけをし同意を得て、歩ける方はキッチンに入っていただき、車椅子の方は野菜の皮むきや食器拭きなどを座ったままやっていただいております。また、献立には、利用者の皆様のご希望を反映するように努めています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスガイドを基準とし、食事、水分量をチェックしています。障害のある方はきざみやとろみなどで食べやすい工夫をしています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後ADLに応じた口腔ケアを行い、1ヶ月に2度歯科往診して頂き、その都度口腔ケアの指導をして頂いております		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を活用し、間隔パターンを把握しスムーズな誘導を心がけ失敗により自尊心を傷つけないよう配慮しております		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便を促す飲食物や、身体を動かす働きかけを行ったり、入浴時のマッサージ等、常に心がけ行っておりますが、排泄チェック表により排便の確認が取れない時は、看護師、かかりつけ医の指示のもと便秘薬など使用しております		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本的な曜日は決まっておりますが、ご本人の希望により自由に入って頂いております		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの習慣や体調に合わせて、休息、睡眠を支援させていただいております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬一覧表を作り、往診時等に薬の変更または臨時薬の処方があった場合は、変更の記入を行っている。職員全員が薬事情報の確認とチェック印を行っています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今まで過ごした習慣や生活暦など参考にしながら、個別に対応しております		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お天気の良い暖かい日は、戸外に出るよう心がけており、お弁当持参で近所の公園や神社に出かけております。またお誕生日月には、ご本人のご要望の場所に出かけております		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の要望により、ご家族様と相談をしながら、お小遣いとして小額のお金を持っていただき、買い物など楽しまれております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙は気持ちを尊重し、電話の取次ぎや手紙の投函などお手伝いさせていただいております。また季節のお便りなども行っております		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を取り入れる為、毎月ディスプレイを変えたり、写真の掲示も楽しめるような工夫をしております		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室の空間を使用したり、ソファーでくつろぐことにより休息できるようになっております		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人にとって大切な物や馴染みの品物はなるべく多くご家族にお願いし持って来ていただいております		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共用部にはなるべく障害物を置かないようにし、また、居室内のベッドやタンスの位置などを、ご本人スタッフと相談して動きやすい様に工夫しております		